

# 植物・動物・昆虫・魚類の観察日記

国立市立国立第七小学校

平成29年4月28日 NO.13 (413)

## ママ下湧水・矢川自然探検教室の感想文特集 その3

☆ぼくがとれたさかなは2ひきです。その中で、1ひきかいました。だけど、かわいそうだからかえしてあげました。名前はまだきめていませんでした。またママ下湧水でさかなを何ひきかとりたいたいです。そして、もしトジョウをとったらかいたいたいです。

(O)

☆昨年に続き今年も参加させて頂きました。数日前から、息子は川で魚を捕まえるんだと張り切っておりました。当日は天気にも恵まれ、川に入るとすぐに網で魚と川えびを捕まえ容器に入れて喜んでいました。帰る時に、「魚を可哀想だから川に戻そうね。」と言うと、「お兄ちゃんに見せるんだ。」と言い、結局家に持って帰りました。家でお兄ちゃんに見せて満足すると、自宅近くの川にパパと一緒に逃がしに行きました。去年は、魚を持ち帰り死なせてしまった後悔からか、今年はちゃんと川に戻してあげる事が出来た、息子の勇気とそして成長ぶりに感動しました。私は、植物のノビル採りに夢中になり、晩ご飯に天ぷらにして美味しく頂きました。このような自然体験を開催して頂きありがとうございました。また、来年も親子で参加したいと思います。

(O)

☆校長先生からおしえてもらったときから、おとうさんがすぐやりはじめてからぼくもやるようになりました。川えびの白かったやつを10ひきぐらとれました。校長先生からおしえてもらってから、けっこうやってからそれでやってたら、ざりがにがつれたからこうふんしてざりがにがいる川のほうにいきませんでした。なんでかという、かまれるといたそうだったからです。みんなかまれていなかったけど、いいかったことがあります。ママ下ゆうすいを大すきになりました。またいきたいとおもいます。校長先生のおかげですきになりました。

(T)

☆校長先生に教わったように、魚とり網を水草の下に合わせて草を踏むと、川エビが面白いようにたくさんとれました。普段は生き物におっかなびっくりの息子も今日は違いました。川エビのほかにも念願のザリガニをとって、もう興奮状態。水面に映るキラキラの光と、息子の瞳のキラキラがまぶしかったです。いつもは体験できない貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。この素晴らしい自然をいつまでもいつまでも残しておきたいと思いました。【題名：キラキラとキラキラ】

(T)

☆きょうはざりがにがとれてうれしかったです。またいきたいです。

(N)

☆たのしかった。おさかないっぱいとれてよかった。またいきたい。

(K)

☆普段こういう機会をなかなか持てないので、子どもと一緒に参加できて良かったです。とても嬉しそうに魚を取る姿を見て、今度は家族で行ってみたいと思いました。

(K)

お礼とお詫びとお知らせ

たくさんの方々より感想文を頂きありがとうございました。心より感謝申し上げます。作者の思いを尊重し、なるべく原文のまま掲載させて頂きましたが、若干の加筆訂正はお許し下さい。また、題名も全ての方を載せると重複してしまうので割愛いたしました。なお、今年の感想文集はバックナンバー「国立てくてく」NO.309・310にあります。さらに「ザリガニ」は同じくNO.249に記載がありますのでご覧ください。



モンタ博士「フッタ博士！何をしているの。」  
フッタ博士「見てください。ここは谷保駅なんです  
が、『花のタネプレゼント』  
コーナーを作っているんです。」  
モンタ博士「それはそれは、ごくろうさまです。  
何のタネがあるんですか。」  
フッタ博士「国立七小に咲いていたヒマワリと  
コスモスのタネなんです。」



モンタ博士「この前、学校で子供たちみんなに  
配っていたものですね。」  
フッタ博士「みんなにあげた後、まだまだたく  
さんのタネがあるので、谷保駅を  
利用している人に無料でプレゼン  
トしてあげるんです。」



モンタ博士「そんなにたくさんあったのですか。  
全部でいくつ作ったのですか。」  
フッタ博士「三角の袋でヒマワリは800こ、

コスモスは500こくらいだそうです。校長先生がラボで、子供たちとみんな  
で給食を食べ終わってから、おしゃべりしながら作ったそうですよ。」

モンタ博士「それは、すごいことですね。あちこちの子供たちのおうちにヒマワリやコス  
モスのお花が咲いたら、きれいでいいね。ところで、フッタ博士！みんなが  
使う駅に、それらのタネを勝手においてもいいのですか。」

フッタ博士「駅の改札を出ると、そこは国立市の管轄なんだそうです。それで、国立市役  
所で許可を得ているので、特に問題も心配もないということです。」

モンタ博士「なるほど、そういうことですか。それを聞いて安心しました。国立七小の  
みんなで育てたお花が、国立市のあちこちでまた花を咲かせ、『花いっぱい、  
笑顔いっぱいの国立市』になるといいですね。」

ご自由にお持ち帰りください！